

## 18歳成人と消費者教育

岡崎 瑞喜 (兵庫県立北摂三田高等学校)

### はじめに

18歳から成人になるということは、それだけトラブルに巻き込まれる確率も上がるということを去年、家庭科の授業で学んだ。では、これから成人を迎える私たちはどのように対処したらよいのか。これに私は心理学的なアプローチが含まれていると考えたので、調べてみることにした。



### 研究方法

#### ①成人年齢の引き下げと悪質商法

成人年齢の引き下げによって起こった消費者トラブルの件数の推移、また悪質商法の例について調べた。

#### ②勧誘に使われる心理学的効果

勧誘する際に使われているであろう心理学について調べた。

#### ③勧誘に使われる手法や理論を踏まえて、身を守る術を考察する

万が一のことがあった時のために消費者の味方になる法律などのルールについて調べたり、②で調べた心理学による心理学的効果への対処法を自分なりにまとめたり、また何かがあったときに相談できる機関について調べた。

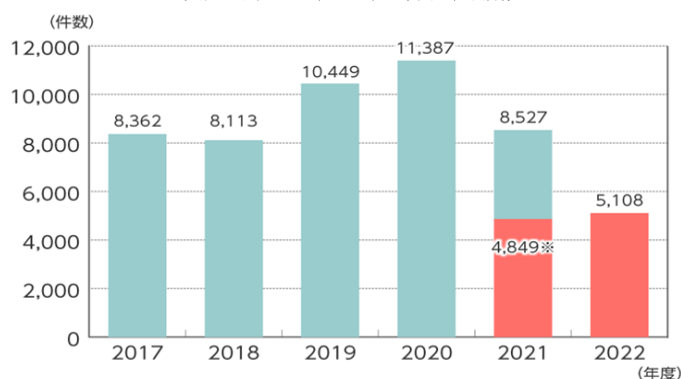
### 結果と考察

右の図より18歳、19歳の消費者センターへの相談件数は増加していることがわかる。やはり、2022年4月から始まった18歳成人は様々な消費者トラブルを引き起こしてしまっていることがわかる。これらの原因の一部となる悪質商法について特に詳しく調べ、様々な勧誘手段があることを知り、これらから身を守るために、勧誘と心理学とのむすびつきがあると仮定して、自分なりに対処法を考えた。

これから大学生になる人へ向け、消費者トラブルを起こさせないための啓発ポスター等を作成し、トラブルを最小限に抑える手助けを行いたい。



契約当事者が18歳・19歳の年度別相談件数



(出典) 政府広報オンライン ※の件数は年同期件数